



新富小だより

令和7年
6月30日発行

《本年度の重点教育目標》 **認め合い 支え合い 学び合う子どもの育成**
～認め合い 支え合い 学び合う活動を通して 仲間との関係を深め 子どもたちの人間性を高める～

No.3

新富っ子の底力～未来へつながる礎～

旭川市立新富小学校

校長 工 藤 真

先日、6年生が「修学旅行」に行ってきました。天候に恵まれ(暑すぎましたが...)旅行日和の中、2日間の札幌・小樽での研修や体験をしてきました。「SAIKOU」のスローガンの基、6年生47名は、これまでの小学校生活の集大成として、しっかりと学びを深め、大きな事故やけがもなく、無事に帰校しました。

話は変わりますが、昨今、chatGPT や GEMINI に代表されるような「生成AI」(人工知能)が話題となっています。ユーザーの質問などに応答して、膨大なネット等の資料から、答えを導き出すシステムです。ある大学でレポートの課題が出た際、複数の学生がこの chatGPT を使ってレポートを作成したところ、同じレポートが何通も提出されたということが話題となりました。確かにユーザーがしっかりと判断の基、有効に活用すればこんなすばらしいものはないのですが、前述の学生たちのように、「面倒くさいから、楽をしよう」などと考え利用するのであれば、それは効果的な活用ではないと思います。レポートを出している教授としては、「その課題にどう正対し、自分の考えや意見を構築するのか」という問なのですから、これはネット等の資料の引用にあたらなくなります。今後「自ら考える時代」はなくなってしまうのでは?と不安になります。それでなくても、様々なメディアは私たちから考える場を奪ってしまっているのではないかと考えています。

さて、修学旅行は、当日の2日間だけではありません。それに向かって子供たちは目標を立てたり、ルールを作ったり、見学の計画を立てたり、膨大な時間を使ってどうやったらよりよいものになるのかを自分で考え、お互いに相談し、何回も何回も見直して、1冊のしおり(旅行計画)を作成します。そして、当日はそのめあてや計画にそって活動をしていきます。私が担任を離れてから10年以上経っていますが、「自ら考え・判断し・行動する」ことを子供たちには強調して指導していました。時代は流れ、社会は少しずつ変われど、その時々に応じて「自ら考え・判断し・行動する」ことはいつの時代も求められています。

現在の世の中は急激な変化を伴い、10年後がどうなっているか見通せない社会です。そのような環境に囲まれている子供たちは、自分たちが成人する頃には、今まで以上にたくさんの選択とたくさんの創造が求められます。まさしく「自ら考え・判断し・行動する」ことが求められます。修学旅行の取組一つとっても、仲間と話し合い、力を合わせることで、そういった未来へ向かっていくために必要な資質・能力をしっかりと身に付けることも含まれています。

新富っ子の6年生は、修学旅行を通して「自ら考え・判断し・行動する」や「仲間と協力して成し遂げることの大切さやすばらしさ」を学んだと思います。一人一人の頑張りはもちろん、6年生全員で取り組んだことで、「いい修学旅行にしよう!」という意気込みが生まれ、終わった後の達成感、充実感につながったと思います。それは、子供たちの反省の中にも見て取れますし、指導に当たった先生方からも子供たちの育ちや良さをたくさん聞くことができました。大変嬉しく思います。そして、この力は、将来大人となった時に必ず生きて働く大きな力となってきます。まずは、これからの学習や活動に大いに生かしてもらいたいものです。



遠足(1~4年)、修学旅行(6年)に行ってきました

12日(木)、第1~4学年で遠足を実施しました。

歩き出しはやや肌寒かったものの、徐々に気温も上がり、絶好の遠足日和となりました。学年ごとに歩く距離は異なりましたが、いずれの学年においてもしっかりと足取りで歩き抜く子供たちの姿が見られました。

目的地に到着後は、集団行動のルールを守りつつ、思い思いに公園の遊具で遊んだり、ドッジボール等で体を動かしたりしました。その後、美味しいお弁当やおやつを食べる時間を設け、仲間との楽しいひとときを過ごしていました。

友達との絆も深まり、子供たちの笑顔輝く最高の遠足となりました。保護者の皆様には、お弁当や持ち物の準備への対応をいただき、ありがとうございました。



6月18日(水)・19日(木)の日程で、6年生が札幌・小樽方面への修学旅行に行ってきました。両日とも天候に恵まれ、計画どおりに実施することができました。

1日目は、北海道開拓の村、ロイズカカオ&チョコレートタウンを見学し、ガトーキングダム・サッポロに宿泊しました。2日目は、小樽水族館を見学したり、小樽運河の散策やオルゴール製作体験等を行ったりしました。

宿泊を伴う行事は、思い出に残る楽しい活動であるとともに、共同生活やマナーなど集団でなくては学ぶことのできない貴重な体験学習の場となります。自分たちで立てた目標を意識して行動した6年生は、最高の修学旅行を自ら創り上げました。

小学校の集大成として臨んだ修学旅行を通して、この6年間の確かな成長を確認することができました。



学校と地域を結ぶ架け橋に

R7 学校運営協議会委員

村井 為敦 様 (学校医、元 PTA 会長)
楠井 隆明 様 (認定こども園新富保育園園長)
星 英樹 様 (元 PTA 会長)
岩淵 治久 様 (現 PTA 会長、4 学年保護者)
工藤 真 (学校長)



6月26日(木)に、今年度1回目の学校運営協議会を開催しました。本校の学校運営協議会は、校長を含む5名で構成されており、学校と地域が連携・協働するように、地域・保護者の方々と学校が目標を共有し、一定の権限と責任をもって学校運営に参画してくださっています。

当日は、委員の皆様には授業参観をしていただいた後に、校長室にて委嘱状を交付し、令和7年度の学校経営方針や学校いじめ防止基本方針等について説明いたしました。その後、新富っ子の地域での様子や本校の教育活動について幅広く意見交換をさせていただきました。

今後も、学校運営協議会の皆様のお力をお借りしながら、学校と地域が一体となって、よりよい教育活動を推進していきたいと思ひます。

いじめ見逃し0へ

本校では、「いじめはどの児童にも起こりうる」との認識のもと、いじめの早期発見・早期指導に全力で取り組んでいます。

5月の下旬には、いじめの未然防止を目的とした「いじめアンケート調査」を実施しました。4月以降「嫌な思いをしたことがある」「友だちが嫌な思いをしているのを見た」など、アンケートから得た情報を基に、じっくりと時間をかけて、個別の教育相談を行いました。担任が児童から詳しく事情を聞き取ることによって、早期解決や関係改善を図っているところです。

今回は、直ちに警察と連携した対応が必要な事案や児童の生命、身体又は財産に重大な被害が生じたり、相当の期間欠席をすることを余儀なくされたりする事案はありませんでした。

今後も、嫌な思いをした児童を中心に学級での様子や人間関係を注視し、いじめ解消に向けた組織的な取組を進めていきます。そして、本校教職員が一丸となって「いじめは、どんなことがあっても、許さない!」という指導と「いじめの見逃し0」に向けた日常の見守りを継続し、全ての新富っ子が、安全・安心な生活を送ることができる学校づくりを目指します。

お子さんのことで、ご心配なことがありましたら、遠慮なくいつでも学校までご相談ください。



7月の主な行事予定

- | | |
|--------|--|
| 1日(火) | 5年生宿泊研修① |
| 2日(水) | 5年生宿泊研修② ひよこ読書(1・2年) |
| 3日(木) | 5年生宿泊研修回復休業日 |
| 4日(金) | 新富オリンピック【予】 フッ化物洗口 |
| 7日(月) | 朝の広場 個人懇談①【5時間】
S・C いじめに関する出前授業(5・6年) |
| 8日(火) | 全校自転車教室 個人懇談②【5時間】 |
| 9日(水) | 朝の街頭指導 委員会
ひよこ読書(5・6年) |
| 10日(木) | 個人懇談③【5時間】 |
| 11日(金) | 個人懇談④【5時間】 フッ化物洗口
夏休み図書貸出(低) |
| 14日(月) | 個人懇談⑤【5時間】 夏休み図書貸出(中) |
| 15日(火) | 個人懇談⑥【5時間】 諸費引落日 |
| 16日(水) | クラブ 夏休み図書貸出(高) |
| 17日(木) | 個人懇談⑦【5時間】 |
| 18日(金) | 個人懇談⑧ フッ化物洗口 |
| 21日(月) | 海の日 |
| 22日(火) | 下校指導 SNS等のトラブルに係る
非行防止教室(4~6年) |
| 23日(水) | 1学期終業式【5時間】 |
| 24日(木) | 夏季休業(~8/25) |

